

ほけんだより

平成 28 年 9 月 20 日
日野市立仲田小学校 保健室



スズメバチへの対応について

9月16日、日野市内の小学校でスズメバチ被害の報告がありました。
下記を参考に、外での活動の際は注意してください。

刺されないための注意点

・8～10月は、スズメバチの巣が最も大きくなり、攻撃性も高くなります。ハチの種類によって異なりますが、垣根、樹木の枝、樹木や地面の空洞、屋根裏、軒下、床下等に巣を作ります。特に、地面の空洞は、わかりにくいので注意します。ハチが飛んでいるのを見かけたら、巣が近いと思い、警戒してください。



・ハチは、手で追い払うと「攻撃をされた」と認識し、攻撃をします。「攻撃をされた」と認識されないために、かがんで静かに後ずさりをしましょう。

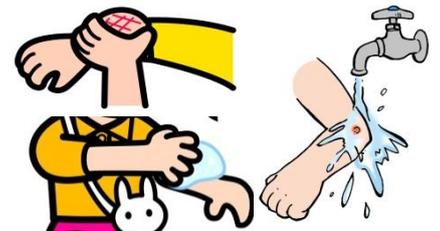


- ・黒くて動くものに反応しやすいため、頭を攻撃されることが多いです。外で活動する際は、白を基調とした服装にしましょう。
- ・強い匂いに反応し、寄ってくることもあります。匂いに敏感なので、ジュースやお弁当の匂い、化粧品、香水、香りの強い洗剤や柔軟剤も注意が必要です。



刺されてしまった時

- ・次々と刺されないように安全を確保します。その場にとどまっていると更に集まってくる可能性があります。10～20m以上離れる、ハチのいない室内へ退避するようにします。ハチを刺激しないように、落ち着いてゆっくりと退避します。
- ・残っている針、毒液を傷口から絞り出し、水で洗い流します。
※口で吸いだすことは、絶対にしないでください。
- ・抗ヒスタミン系成分を含むステロイド軟膏（虫刺されの薬）を塗り、患部を冷やします。



※応急処置の後は、皮膚科を受診しましょう。

- 口内のしびれや異物感、嚥下困難や呼吸困難、手足のしびれ、動機、息切れ、悪寒、耳鳴り、くしゃみ、めまい、倦怠感、腹痛等。
- 肌の紅潮・腫れ、じんましん、ぐったり、意識がもうろう、尿や便をもらす、脈が振れにくいまたは不規則、唇や爪が青白い、のどや胸が締め付けられる・声がかすれる・犬が吠えるような咳・息がしにくい・持続する強い咳き込み・ゼーゼーする呼吸、持続する強い腹痛、繰り返す嘔吐等。

※上記の症状の場合は、救急車を呼び、病院を受診してください。